



異文化大国ブラジルに挑戦する 21 世紀日本の「内なる国際化」

A "Internacionalização Interna" do Japão no Século 21 desafia o grande país intercultural Brasil

コーディネーター

● 林田 雅至 (Masashi Hayashida) 大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授

1979年東京外国語大学卒。2007年より現職。専攻はポルトガル語圏文学・文化、宗教民俗学等。言語を通じて多民族国家ブラジルの豊かな文化にも精通し、近年は我が国の日系ブラジル人の増加などにかかわる社会問題をめぐる「地域多文化共生」「内なる国際化」にも着目、医療通訳や災害時の外国人支援などにも関わる。2004年には大阪国際交流センターで連続セミナー「多彩な異文化大国ブラジル」をコーディネート。

スピーカー

● 岡田 茂男 (Shigeo Okada) ダイキン工業株式会社グローバル戦略本部顧問

1967年慶応義塾大学卒。元ブラジル三井物産社長。2004年より現職、ダイキン工業のブラジル展開を統括。18年以上に及ぶブラジル駐在の経験から、現地のビジネスだけではなく、文化、社会風土についても深い造詣を持つ。また、大阪・サンパウロ姉妹都市協会副会長として、来年度実施される「姉妹都市提携 40 周年」の企画を進めている。

● 南谷 かおり (Kaori Minamitani) りんくう総合医療センター 健康管理センター長 国際外来担当医

幼少期から約16年間ブラジルで過ごし、1987年ブラジルのエスピリト・サント連邦大学を卒業(ブラジルの医師免許取得)。その後、ブラジル、日本両国での臨床経験を積み、1996年日本での医師免許も取得。現在は異文化の背景を持つ外国人診療の臨床経験を通じて、医療通訳の役割と重要性を研究、医療通訳者の育成にも力を注いでいる。

● 高橋 研一 (Paulo Kenichi Takahashi) 北里大学大学院客員教授

両親が1930年にブラジルに移民。1946年パラナ州アサイ生まれ。1954年両親、姉、弟と移民船「アメリカ丸」で帰国。大阪市立大学、大阪府立看護大学で30年間にわたり「解剖学」を教授したあと退職、来年4月からは沖縄に移住する。今年の4月、在日ブラジル人の生活を支援するNPO法人関西ブラジル人コミュニティーでの活動を通じて、神戸のメリケンパークでブラジル移民百周年記念イベントを開催した。

サブコーディネーター

● バルバラ・ピエトラガラ (Bárbara Pietragala)

1996年、9歳で来日。堺市立の小学校、中学校、高等学校を卒業し、現在は大阪市内の大学・国際文化学科に学び、「異文化間協働」を専攻する3年生。「将来は日本とブラジルをつなげられるような人材になりたい」という目標に向かって邁進中。

● 畑本 幹彦 (Mikihiko Hatamoto)

1975年、5歳の時にブラジルに渡り、16年を過ごす。1992年に帰国し、現在は、大阪国際交流センターにおいて、ポルトガル語の専門職員として、インフォメーションセンターで様々な外国人からのお問合わせに対応。

併催：「ブラジル日本移民 100 周年記念写真展」

展示日：2008年12月20日(土)、21日(日) 場所：3階 銀杏(いちよう)前



1908年4月28日、ブラジルへ向けた第1回日本人集団移住者を乗せた移民船「笠戸丸」は、約2ヶ月間におよぶ航海を経て、6月18日にブラジルのサントス港に入港します。

これが、集団による日本人ブラジル移住の始まりです。

新世界に渡った日本人たちの100年の歴史を写真パネルで紹介します。

大阪市とサンパウロ市は姉妹都市!!

大阪市とサンパウロ市は来年(2009年)姉妹都市提携40周年を迎えます。

サンパウロ市との交流深めるため、1969年大阪・サンパウロ姉妹都市協会が設立され、企業、団体、大阪の市民の方々に皆様方に会員となっただき、様々な交流活動を行っています。

イベントの企画、入会手続きなどの事務局は(財)大阪国際交流センターが行っております。

◆ご入会・お問合せ◆

(財)大阪国際交流センター 姉妹都市協会担当

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

TEL: 06-6772-9670 / FAX: 06-6772-9790

HP: <http://www.sisterc.net/>

E-mail: info@sisterc.net

インターネットで検索する時は